

第35卷・第4号 昭和28年5月15日第3種郵便物認可

昭和62年4月1日(毎月1回1日発行)

# 牧草と園藝

4

1987

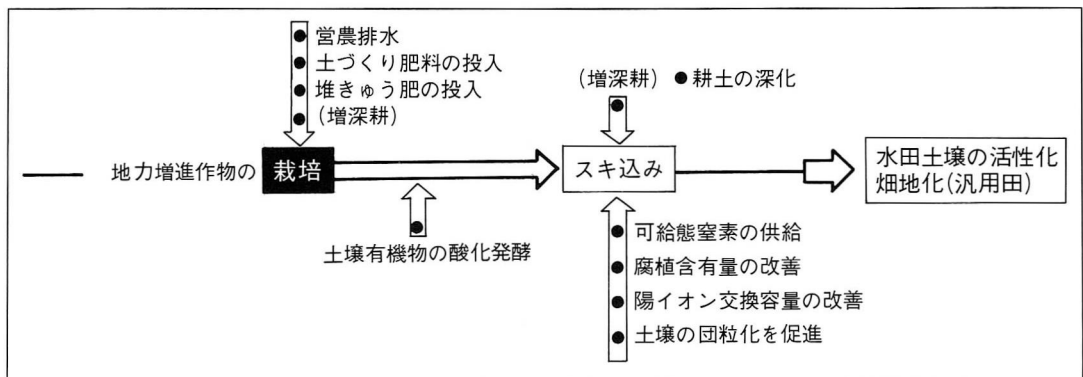
## 水田の活性化と地力増進作物の栽培・利用

“地力は土の生命”です。地力培養をとり入れた米作りは、気象災害や病・虫害に強く、品質・収量ともに向上します。

米の連作では収量維持が精一杯、品質は低下し、コスト高となります。簡便な地力培養策として、地力増進作物のスキ込み（緑肥栽培）が奨励されています。

地力を高め、収量の増加とコストダウンを実現し、競争力のある米作りを目指しましょう。

### ●地力増進作物の栽培・スキ込み効果



- ◎ 地力増進作物の導入は、真剣に栽培すれば、それだけでも効果があがります。
- ◎ 地力増進作物を継続的に栽培できる場合は、飼料用としての地上部利用をお奨めします。
- ◎ 家畜がない場合は、畜産農家に利用してもらい、かわりに堆きゅう肥を入れてもらうのも効果的です。

### ●地力増進作物導入のパターン(作型)と適作物(適品種)

- (1) 早春～春播き，夏利用——東北～西南暖地→地力増進のためにスキ込む。またはエサ利用。  
イタリアンライグラス(マンモスB)，エンバク(ハイオーツ)
- (2) 麦作収穫前のクローバ中播き——東北地域適応→地力増進のためスキ込む。  
(クローバ生育期間をおく)  
アカクローバ，アルサイククローバ(いずれも根粒菌が接種されたノーキュライド種子を利用)
- (3) 梅雨あけ後の栽培——東北～西南暖地→スキ込み，またはエサ利用。  
トウモロコシ(スノーデント)，ソルガム(グリーンソルゴー)，スーダングラス(ヘイスーダン)
- (4) 晩夏播き，年内利用——南東北以南～→スキ込み，またはエサ利用。  
エンバク(ハヤテ)，イタリアンライグラス(エースまたはマンモスB)，ソルガム(スイートソルゴー)
- (5) 秋～晩秋播き，翌春利用——東北中部以南～→スキ込み，またはエサ利用。  
レンゲ，イタリアンライグラス(サクラワセ)，エンバク(オールマイティ)，ライムギ(春一番)